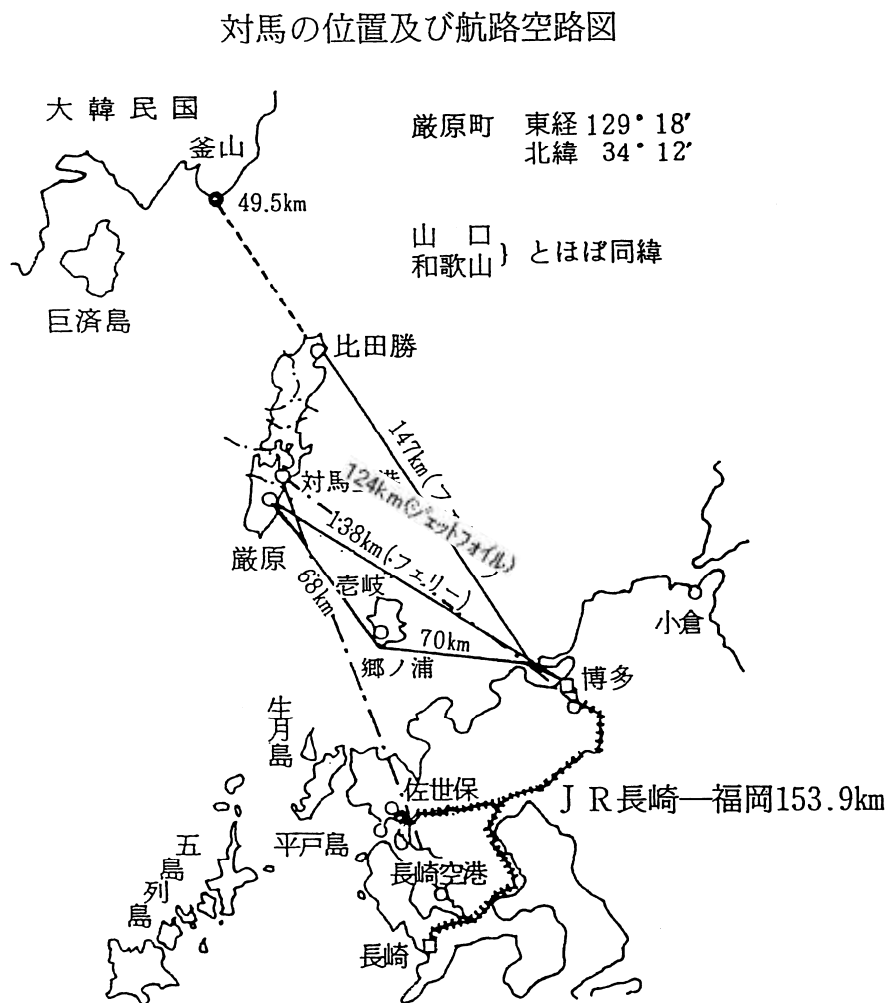


1. 地 勢

(1) 位 置



(注) 図中の距離は運輸省へ申請の営業距離数で記載

- (2) 面 積 707.42 k²
 (沖縄本島を除き佐渡島、奄美大島に次ぐ全国離島第3位の広さ)
 東西約18km 南北約82km
- (3) 海岸線 約915km
- (4) 山 岳 最高峰 矢立山 (厳原町) 標高648m
- (5) 二級河川 45河川 (39水系)
- (6) 島 数 本島及び107 (うち有人島5) の小島
- (7) 土地利用状況 (70 次九州農林水産統計年報)

(単位 : ha、%)

区 分	総土地面積	耕 地			林野	その他
		田	畑	計		
対馬市土地面積 (割合)	70,742 (100%)	543 (0.8)	240 (0.3)	783 (1.1)	63,298 (89.5)	6,661 (9.4)
長崎県土地面積 (割合)	413,100 (100%)	20,700 (5.1)	24,600 (6.0)	45,200 (11.1)	246,301 (59.6)	121,599 (29.3)

2. 人 口

(1) 推 移

対馬の人口は、藩政期には3万人、明治末期で5万人、昭和15年で5万7千人、その後昭和35年（ピーク時）には69,556人まで増えたが、その後減少に転じ、令和2年の国勢調査では28,502人とピーク時から59%減となっている。

また、令和27年には14,000人まで減少するという推計もある。

特に、対馬では中学卒業時に約3割が島外に流出しており、人口減少対策の中でも社会減対策が急務となっている。

人口減少が進むなか、様々な産業における担い手の確保、保健・医療提供体制の確保、福祉体制の充実などが大きな課題となっている。

○人口の推移（令和2年国勢調査）

（単位：人、％）

	S35 年 (ピーク時)	H22 年		H27 年		R2 年		
			H17 年 調査と の増減 率		H22 年 調査と の増減 率		H27 年 調査と の増減 率	S35 年 調査と の増減 率
対馬市計	69,556	34,407	△10.6	31,457	△8.6	28,502	△9.4	△59.0
長崎県計	1,760,421	1,426,779	△3.5	1,377,187	△3.5	1,312,317	△4.7	△25.5

(2) 高齢者比率

高齢者比率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は、昭和60年12.0%に対し、令和2年は県平均の32.8%を上回る、38.6%となっている。

令和27年には52%になると推計されており、超高齢社会を見据えた社会基盤の整備が必要である。

○高齢者比率の推移（令和2年国勢調査）

（単位：人、％）

区 分	S60 年	H22 年	H27 年	R2 年	S60 年調査 からの増減率
対馬市総人口	48,875	34,407	31,457	28,502	△41.7
対馬市 65 歳以上人口 (構成比)	5,884 (12.0)	10,135 (29.5)	10,675 (33.9)	10,989 (38.6)	86.8
長崎県総人口	1,593,968	1,426,779	1,377,187	1,312,317	△17.7
長崎県 65 歳以上人口 (構成比)	193,605 (12.1)	369,290 (25.9)	369,290 (25.9)	430,353 (32.8)	122.3

3. 農業

耕地面積は783haあり、その内容は水田543ha、畑240haで、県全体の耕地面積の約1.7%、対馬の総面積の約1.1%である（70次九州農林水産統計年報）。

管内では、農業者の高齢化や生産資材の高止まりなど厳しい状況の中、水稻のほか、アスパラガスやミニトマト等の施設野菜、畜産では県内唯一「褐毛和種」が飼育されている地域である。

また対馬固有の対州そばは、地理的表示制度（G I）に登録され、島内で広く栽培されている。伝統的な巣箱「蜂洞」によるニホンミツバチの養蜂も盛んにおこなわれている。

一方、有害鳥獣について、シカの捕獲頭数が取組の強化により、令和3、4年度には1万頭を超え、農業被害は横ばいで推移している。

○主要農作物作付面積及び収穫量

（単位：ha、kg、t）

区 分		水 稻	そ ば	アスパラガス
作付面積	対馬市	223 (2.2%)	89 (59%)	2.8 (4.1%)
	長崎県	10,000	151	69
10a当収量	対馬市	405 (83%)	48 (65%)	531 (36%)
	長崎県	488	74	1,479
収 穫 量	対馬市	903 (1.9%)	43 (38%)	15 (1.5%)
	長崎県	48,800	112	998

※「水稻」、「そば」（70次九州農林水産統計年報）

※「アスパラガス」は令和6年値（対馬振興局調）

○肉用牛飼育頭数

（単位：戸、頭）

年 度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
飼養戸数	50	50	49	50	46	45	43	40	35
飼養頭数	460	481	497	527	508	547	536	477	451

※畜産課R6年4月1日調べ

○イノシシ・シカによる農産物被害額等の推移（長崎県農林部調）

（単位：千円、頭）

年度		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	長崎県 (R5)
猪	被害額	7,130	3,530	1,545	1,887	939	2,759	2,419	2,393(2%)	151,845
	捕獲頭数	5,984	3,084	2,725	5,340	9,346	8,406	2,852	3,825(12%)	31,740
鹿	被害額	1,322	3,684	2,809	2,367	1,372	1,338	991	993(46%)	2,145
	捕獲頭数	4,903	5,493	6,338	8,422	7,462	11,321	10,478	8,704(59%)	14,649